寄付一件

一金5百円也　縄田　国雄（砂二）

右金額は、広報郵送お礼として寄付いたします。

阿知須町広報

No. 179　この広報紙は毎月1回各ご家庭にもれなく配布

昭和41年9月12日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場

印刷　宇部新聞印刷所

今月の納税

国保保険税の第5期分
国民年金の9月分

おわび

今月号は、編集の都合により発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。

きまった私たちの代表者18名

任期満了にともなう本町の町議会議員一般選挙は8月28日の告示で始まり同月31日に締切り、定数18人に対し立候補者は23人。内訳は現13、元2、新8人で9月4日午前7時から投票が行なわれ、即日開票の結果、次の18名の方が決まりました。当日有権者数5.121（男2.279）（女2.842）投票総数4.806票、有効投票数4.776票、無効投票数30票、投票率は93.85％でした。

（敬称略）写真右上から得票数、党派、氏名、年令、職業、部落

当選　2百92票　無所属　水本忠雄　56才　農業　井関

当選　2百58票　無所属　児玉三男　55才　木材業　東

当選　2百49票　無所属　重村幸作　50才　会社員　砂三

当選　2百43票　無所属　岩井久生　45才　会社員　北祝

当選　2百42票　無所属　藤村忠明　61才　農業　縄北

当選　2百37票　社会党　菊本文男　35才　会社員寺河内

当選　2百26票　無所属　重村三郎　51才　漬物業　日北

当選　2百25票　無所属　小林武男　46才　会社員　飛石

当選　2百21票　無所属　中田光人　50才　商業　西条

当選　2百18票　共産党　正司重徳　39才　団体役員縄北

当選　2百12票　無所属　松崎徳彦　61才　農業　浜表

当選　2百11票　無所属　片山浩太郎　60才　農業　河内

当選　2百10票　無所属　藤井富男　59才　農業　日円松

当選　2百6票　無所属　中嶋精一　63才　鉄工業　浜

当選　2百4票　社会党　岩村幸夫　40才　団体役員縄南

当選　百93票　無所属　大村　勝　45才　国鉄職員　東

当選　百80票　無所属　辻永一夫　44才　農協職員岩辻

当選　百78票　無所属　藤野太助　51才　国鉄職員砂三

3年後には2割増産を
今秋に米作り日本一阿知須町大会を

米穀増産推進協議会が発足

最近の農業は、社会の急速な発展にともない水稲を主軸として、ある農家は果樹をまたある農家は養豚、養鶏経営に向っています。ことに畜産は近年多頭化の傾行をしめし、水稲も集団栽培や直まき栽培へと向い、機械化へ大きく飛躍してまいりました。この様相は、伸びゆく農業を如実に物語っております。みわたす限りの青田は、やがて黄金の穂波が打ち寄せ阿知須町の宝庫は歓喜の色に満ちあふれることでしょう。

現在、阿知須町の農業は、毎年平均して2百11万6千20㌔（3万5千15俵）10アール当り4百50㌔（7.5俵）の収穫量がありますが、さる7月30日、阿中校体育館において、阿知須町米穀増産推進協議会が発足し、土地の基盤整備の促進や集団栽培の勧奨、そして技術指導などを行ない、3年後には2割の増産や3割の省力栽培をして10アール当り平均収穫量6百㌔（10俵）をめざすことになりました。その第一歩として、同会主催により第1回の〝米作り日本一阿知須町大会を行なう運びとなりました。

では、〝米作り日本一大会の推せんの条件や資格などについて簡単に説明してみますと、出品田は10アール以上であり、そして3枚以内として、1㍍以上の道路や水路をはさまないなどいろいろあり審査は、第1次審査で全出品田を立毛検見を行ない、優良と認められるものを15点を選び出します。第2次審査で、この15点について粒数計算により5点を選び出し、最終審査で、この5点について坪刈審査により順位を決定することになっています。

はたしてどなたが個人優勝をとられ、どこの団体が1位になられるか、秋の収穫時には、収穫量とともに、米作り日本一阿知須町大会に興味が注がれることでしょう。

お知らせ

豚コレラが発生しております

予防注射はぜひ行ないましょう

最近、福岡県、高知県、香川県、兵庫県において、豚の大敵、豚コレラが大発生をしております。幸いにして、山口県にはまだ発生はしてはおりませんが、しかし、十分警戒する必要があります。

そこで前述しました豚コレラの発生しております県の養豚業者の方が、お宅の豚を見学にこられましたときには、豚舎には入れないようにしてください。また9月21日、22日の予防注射は、必ず受けられますようお知らせいたします。

乳児の一斉検診を行ないます

次のとおり乳児の一斉検診を行ないますのでお知らせいたします

日時　9月13日（火）午後1時から3時まで

場所　町議会議場

対象乳児　生後1カ月から1年1カ月までの乳児

なお、当日は母子手帳をご持参してください。

慰安の夕べを行ないます

日本博愛会の慰問で

日本博愛会の巡回芸能奉仕団がこのたび本町を慰問することになりましたのでお知らせいたします

日本博愛会演芸奉仕団とは、ご記憶の方もあるかと思いますが、終戦までは、軍部の援助により遠く満州、中支などの傷病兵の慰問を続け、また戦後は、各県の諸団体を対照に慰問を続け、この演芸を通じて広く善意と感謝を持てる人々をより多く生み出して、明るい社会を作り出そうという意欲に燃えて全国各地を無料慰問しているものです。

当日はご近所お誘い合せのうえご観覧してください。

期日　10月8日（土曜日）午後7時から

会場　阿知須小学校講堂

入場料　無料

演芸内容　舞踊、立体万才、音曲万才、浪曲、歌謡万才、奇術、爆笑万才、浪曲万才など

農業委員会の会長、副会長が決まりました

7月15日に行なわれることになっていた農業委員会委員選挙は、結局、無投票に終り、8月5日に初会議が行なわれました。その結果、会長に中尾定雄さん、副会長に田辺悦雄さんが選任されました

第3回婦人バレーボール大会は

場所　阿知須小学校校庭

日時　9月30日　午前8時に試合開始

第15回町内親睦球技剣道大会は

場所　阿知須中学校

日時　10月10日　午前8時に試合開始

町民ハイキング

▼鳳翩山（ほうべんざん）
東鳳翩山から西鳳翩山へ

▼期日　10月23日（雨天の場合は10月30日）

・午前8時町役場前を出発
・午前9時東鳳翩山登山口へ
・午前10時山頂着、休けい。
・12時に東鳳翩山山頂を出発
・午後2時西鳳翩山山頂着、休そく
・午後3時西鳳翩山山頂下山
・午後4時西鳳翩山登山口へ
・午後5時町役場前着

▼申込み　10月15日午前中までに会費50円を添えて町公民館までに。バス1台、定員になりしだい締切ります。

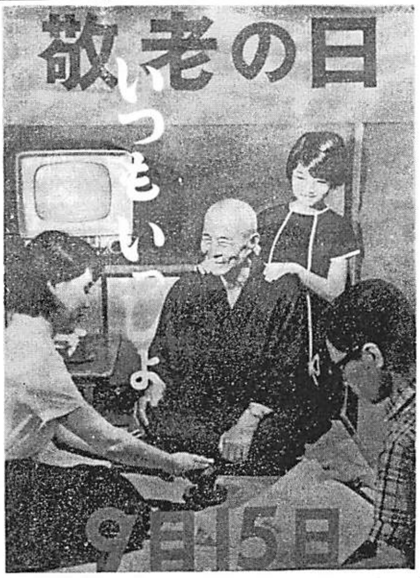
▼参加できる人　幼児や小・中学生は参加できません。（水筒弁当などをご持参のこと）

みんな受けよう伝染病接種

昭和41年度、秋の予防接種を次の表のとおり、行ないますので、該当される方は、進んで受けましょう。

なお時間は、いずれも午後1時30分から午後3時までです。表の中に初回の人とは始めて予防接種をする人で、追加の人とは、ことし春に3回接種された人です。また入学前の人とは、来年（42年）4月に入学する人のことです。

月日	種類	対象者	会場	料金
9月16日	ジフテリア	入学前の人（昭和35年4月2日～36年4月1日間に生まれた人） 井関小学校6年生	井関小学校	30円
9月22日	百日咳ジフテリア混合	初回の人の2回目（9月8日にされた初回の人）	町議会議場	30円
9月30日	百日咳ジフテリア混合	初回の人の3回目（9月8日にされた初回の人）	町議会議場	
10月11日	種痘	初回の人（昭和41年2月1日～41年7月31日間に生まれた人） 入学前の人（昭和35年4月2日～36年4月1日間に生まれた人） 阿知須小学校6年生	阿知須小学校	
10月12日	種痘	初回の人（昭和41年2月1日～41年7月31日間に生まれた人） 入学前の人（昭和35年4月2日～36年4月1日間に生まれた人） 井関小学校6年生	井関小学校	30円
10月13日	種痘の検診	入学前の人および阿知須小学校6年生の人	阿知須小学校	
10月14日	種痘の検診	入学前の人および井関小学校6年生の人	井関小学校	
10月18日	種痘の検診	初回の人（10月11日に接種された人）	町議会議場	



写真右　夏休みにも花の手入れをする児童たち
写真左　美しく咲き誇るサルビヤ・マリーゴールド

井関小学校が県下一に
近く学校環境緑化コンクール全国大会に

井関小学校が、このたび山口県学校環境緑化コンクール大会で、見事金的を射め（小学校の部）近く行なわれます全国大会に参加することになりました。

ご承知のとおり、井関小学校は昭和39年4月に、県教育委員会から環境緑化の指定校に指定され、それから先生や児童、そしてご父兄の方々が一体となられて、緑化計画が着々と進められ、ことし3月にすべての計画が終了しました。その間、先生や児童、そしてご父兄の方々によって、天体気象園、ふじ棚、地理景観図、噴水池、動物飼育舎などの全施設は、すべて奉仕作業によって完成されました。また芝生や樹木の管理などは山口農高や宇部農芸などの専門家を招いて、栽培管理の指導を受けて管理にあたられました。

そして、その苦労や児童にあたえた成果についてこのたび県教育委員会主催で行なわれた学校環境緑化コンクール大会で発表し、教育面においてもまた環境緑化の面においてもその成果が高く評価されて、その努力が認められました。このコンクールの参加校は10校で学校環境緑化実施状況調書をもとにして県教育委員会の職員が審査にあたられました。この調書には計画と実施状況、教育活動のうち環境緑化はどのように取り扱われているか。また緑化施設の管理状況などがおりこんであり、教育の指導や、児童たちの活動状況がつぶさに書かれています。

では同調書に掲載してあります6年生中村泰子さんの作文〝緑の週間に思う〟を拾ってみますと

〝緑の週間だ。あそこのはげた山も、小さな学校も、大きな学校もみんな木や花でうめてしまいたいような緑の週間。山に植えた木は人々をたのしませ、人々の毎日の生活の役に立ち、学校に植えた木や花はみんな明るくさせて、よく勉強ができるようにしてくれる。前にこんなことがあった。友達とけんかして、ひどく腹が立った時休み時間に外に出た。出て見ると花壇にたくさん花が咲いていた。何となくしばらくじっと見ていたら胸がスウーとしてきた。また旅行が近づいたころ見た時は、何だか嬉しさが倍になったようで、心からうきうきしてくる。ところが今頃は、野山の珍らしい花を取って帰ったり、公園の木の枝を折ったりして木や花をいためる人がいる。野山に育っている木や花は、自分の生れ育った所にはえている方がよいのではないかと思った。これからも緑の週間だけでなく1年中木や花を大事に育てていきたいと思っている。……以上

この作文は緑の週間にちなんで書かれたものですが、学校ではこの週間に児童会などを行ったり、実践活動を行なっております。また、この長い夏休みにも当番制により毎日8時30分から水かけや、また鳥の飼育などをし、今まではマリゴールドやサルビヤが美しく咲きみだれ、文字通り花と緑に包まれた校庭になりました。

こうした美しい環境のもとで児童たちは、明るく豊かな心を養いどのこどものこも、伸び伸びと健やかに、そして元気はつらつと成長して、勉学に運動に多いに励むことでしょう。

バイクにも自賠法が適用
早く加入いたしましょう

6月29日に自動車損害賠償保障法(以下「自賠法」と略称します)の改正法および自賠法施行令の改正法が公布されました。これは最近自賠法の対象外であった原動機付自転車による事故の被害者が増大しているため、これらの被害者に対しても、自動車事故による被害者と同様の保護を与えることなどの改正を行なったもので、そのおもな内容は次のとおりです。

◎原動機付自転車というのは、道路運送車両法に規定されているもので、総排気量百25CC以下の2輪車などをいいますが、これが新たに自賠法の対象に加えられることになって次のようになります。

①原動機付自転車を運行の用に供する人が、人身事故を起こした場合には、自賠法第3条に規定する無過失責任に近い損害賠償責任を負うことになります。

②原動機付自転車についても責任保険の契約を締結しなければ、これを運行の用に供することができなくなり、これに違反した者は、6カ月以下の懲役、または5万円以下の罰金に処せられます。

③原動機付自転車にひき逃げされた場合、または無保険の原動機付自転車によって損害を受けた場合は、政府の保障事業による救済を受けることができるようになります。

原動機付自転車についての責任保険は8月1日から始まっていますが、9月30日までは任意加入期間とされており、強制実施となるのは10月1日からです。また原動機付自転車について政府の保険事業が開始されるのは、10月1日からです。

◎保険金支払限度額が変更された場合、限度額が新契約と旧契約とによって2本建てとなることを防ぐため必要な措置を定めることができるよう改められました。

これによって改正法と同時に公布された政令で保険金支払限度額が死亡百万円が百50万円に、死亡にいたるまでの傷害30万円が50万円に、傷害30万円が50万円に、後遺障害5万円から百万円が、7万円から百50万円に改められました。

なお加入の申込みは、保険会社の代理店や農協などで受け付けていますので、できるだけ早く加入いたしましょう。1年間の保険料は2千5百40円です。

敬老会は9月18日
阿中校体育館で

国民の祝日に関する法律に〝敬老の日〟（9月15日）が加えられ老人の福祉に対する国民の関心は一般と高まってきました。

多年にわたり社会に貢献してきた老人を国民こぞって敬愛し長寿を祝うとともに、おとしより自らもまた心身の健康を保持し、知識と経験を社会に役立てるように努めることが必要です。

ことしは〝敬老の日〟が国民の祝日になったことを記念し「みんなでつくろう楽しい老後を」モットーに老人福祉週間（9月15日から21日まで）の運動が進められることになっています。さいわい本町には「みんなでつくろう楽しい老後」のモットにふさわしく、各地に老人クラブが発足しております。阿知須町も老人福祉週間によせて9月18日、午前10時30分から阿知須、井関両地区の70才以上のおとしよりの方々4百69名（男子2百名、女子2百69名）を阿知須中学校体育館にお招きして敬老会を行ないます。

なお、ことし米寿を迎えられる万、90才以上の方は次のとおりです。

米寿を迎えられる方々（敬称略）

西村弥十（砂二）中村カネ（砂三）田辺刀子（岩西）鈴川ヨネ（岡）

90才以上の方々（敬称略）

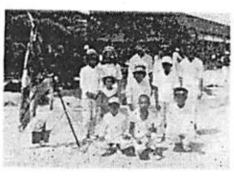
深野	クニ	98才	（小西）
片山	キミ	94才	（河内）
柏谷	リキ	93才	（西条）
古川	シナ	92才	（浜表）
西田	スミ	91才	（砂三）
藤村	良助	90才	（恵比須）
金田	キヨ	90才	（縄南）
上田	ハル	90才	（飛石）
原田作治郎		90才	（岩上）
渡辺	初蔵	90才	（赤迫）

郡体で総合優勝
野球、排球(女子)卓球(女子)に

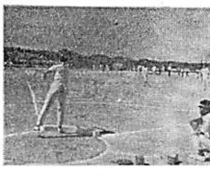
8月21日、阿知須町において、陸上、柔剣道が、小郡町で野球、ソフトボール、排球、卓球、相撲がそれぞれ行なわれました。両日とも絶好のコンデションに恵まれ本町勢は大活躍。陸上の部では、長短距離ともに充実した力をみせて優勝。そして剣道は不戦優勝。また野球も投打にバランスのとれた本町が優勝を勝ちとりました。そして排球、卓球の女子勢が振って優勝をさらい、とくに卓球の個人戦では、山路洋子さんが優勝し、久保田富美子さん、広重民子さんがそれぞれ3位に入賞、排球、卓球男子は残念ながら2位に終り、また相撲も同じく2位に終りましたが、各選手の活躍はめざましく総合優勝にかがやきました。

陸上の入賞者

百㍍　1位　中田憲明、2百㍍　3位　水本保4百㍍1位古谷悦三　8百㍍　1位　兼重隆文　1千5百㍍　2位　兼重隆文、5千㍍　2位　長久良人　3位　潮崎祝雄　4百㍍リレー　2位（古谷、増野　水本、兼重）砲丸投　3位　福増博人、走幅跳　2位　大浜　哲



赤迫子ども会
2年連続優勝



〝子どもたちの天国〟夏休みも半ばを過ぎた8月4日、5日の両日第8回町内子ども会ソフトボール大会が阿知須中学校グランドにおいて行なわれました。

試合数カ月前から練習に練習を重ねた選手たちは、一段と黒さを増し元気そのもの。前年度優勝の赤迫チームから優勝旗が返還され30チームの間で熱戦がくり広げられましたが、赤迫チームが優勝戦で南祝チームを3対1で破り2年連続優勝に輝やきました。

国鉄だより
踏切り事故をなくそう

踏切り事故は、昭和36年度の3千件（中国支社2百64件）最高に40年度は、2千百45件（中国支社百39件）と中国支社については半減しています。

踏切りでの事故は、踏切りをわたる前に、一たん停止をおこたったり、列車の確認を十分しなかったり、とくに複線区間では、警報機がなっているとき、列車が通過後反対列車の確認をしなかったために事故となることが多いので、十分注意する必要があります。

踏切りで一たん停止をすれば、ほとんどの踏切り事故はなくなりますので、踏切りで必ず「一たん停車」「よく確かめる」ということを励行し、大切な生命を自分自身で守りましょう。

季節のわだい

9月の声をきくと、ぐっと日足が短かくなります。ああもう日暮かと、ふっと秋を感じさせるものです。そして9月は、もはや盛夏のころのような猛暑も終わり、いわゆる新涼を迎えることになります。残暑の照り返しもすでに秋を感じさせ、空気中の湿度も少なくなって快適な〝日本の秋〟が始まる月です。『暑さ寒さも彼岸まで』のことわざのごとく、秋色も一段と深まっていくことでしょう。

初秋の健康

さわやかな気候は湿水が少なく体温の発散がよくなります。したがって細胞の活動も盛んになるのでおなかもすいてくるわけです。

そこで秋になるとつい食べすぎて胃をこわしたり、下痢をおこしたりすることがあります。これは夏のあいだにいためつけられた内臓が、まだ十分回復してないところへ、急に重労働をするようなものですから、この点十分注意が肝心でしょう。

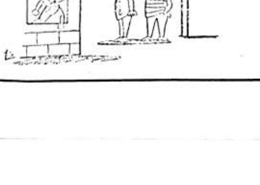
もう一つの原因は、寝冷えからくることも多いようです。おなかを冷やすと、腸のぜんどうが盛んになって、そのため下痢をおこすのだそうです。このような胃腸障害や下痢は、単純なものですから1日か2日で回復しますが、おそろしいことは、これからシーズンに入るといわれる赤痢につながることです。

家の補強

実りの秋を向え、農家では、もうすぐ農繁期に入りますが、農繁期に入る前に、ぜひ家屋の修理をすませておきましょう。8月から9月にかけ、台風はやつぎ早やにでき、その猛威をほしいままに振っていますが、台風情報には、くれぐれも注意いたしましょう。台風は9月はもちろんのこと10月までは安心できませんが、台風が接近してまいりましたときは、早目に懐中電燈などを用意し、台風にそなえましょう。

夏休み終わる（A）

夏休み終わる（B）



慶弔録

出生

お喜び申し上げます　ご健康をお祈りします

西村	憲二	二男	康成	飛石
秋本	孝一	二男	孝弘	南祝
重本	幸雄	長女	真美	砂三
下河	淳宇	長男	秀之	岩辻
浅田	滋	長女	恭子	浜
上田	俊峰	長女	佳子	飛石
植杉佳都瑞		長女	明美	砂二

婚姻

おめでとうございます　この喜びをいつまでも

夫　徳永　実	妻　岩脇　佐枝	飛石　山口市佐山
夫　石川　政司	妻　森重　睦恵	下関市　杖川
夫　西村　正一	妻　小川久美子	宇部市上宇部　砂三
夫　西本　孝	妻　下川　[illegible]子	宇部市西岐波　岩西前
夫　石川　修三	妻　藤谷　孝子	宇部市昭和町　小東

死亡

おくやみ申し上げます

梶間谷チカ	7月21日	75	寺河内
米永　チサ	8月3日	84	北祝
今井富美恵	8月7日	44	東
上野　ミス	8月13日	75	岩辻
縄田　正作	8月15日	66	縄南
竹原　正之	8月19日	3	門松